

# 野のはなだより

2021年5月号

緑の風が気持ちよい季節になりました。新入園児のお子さんも保育園の生活に慣れ、自分から遊びに向かう姿が見られはじめ、だんだんと自分らしさが出てきました。異年齢クラスの散歩の場面では、大きい子が小さい子の手をつないで出かけていく姿に、年長児になった自覚と信頼関係ができ始めている様子を感じます。

感染拡大予防のために昨年度より職員は終始マスクで接しています。表情の半分が隠れてしまう事に不安がありましたが、昨年度のつぼみ組もそして今年度のつぼみ組も目元をよく見ていて、笑顔であやしかけると笑顔が返ってきます。マスクで隠れているのに口元をパクパクさせると、マスクの動きや音で感じとるのか同じように口を動かす子どもの力に驚かされます。子どもの感受性の高さや情報収集能力の高さ、コミュニケーション力、順応性、何よりも生きることにくまひです。そんな子ども達の成長の一つ一つを丁寧に見守っていきたいと思います。

4月下旬に緊急事態宣言が発令されましたが、今まで続けてきた検温・体調管理・手洗い・換気に加えて、無理をしないさせないことを徹底してこの間を乗り切りたいと思います。子どもたちの元気な笑顔を守るため、もうしばらく頑張りましょう。

## 野のはな祭りの収益で遊具を購入しました。

昨年度の収益は園庭の遊具に充てることになっており、カラーチェアと丸太橋を購入しました。乳児クラスは早速、並べたり、重ねたり、座ったり、ひっくり返して入ってみたり、子どもたちの発想は面白いです。幼児クラスは、丸太橋とコンテナとタイヤとカラーチェアなどを協力して組み合わせ、アスレチックを楽しんでいます。



## 園庭で見つけたもの…



突如出現！  
ナスカの地上絵ならぬ、  
ノハナの地上絵？



大切に作った泥団子。  
何度も白砂をかけて磨きます。  
まん丸になるまでとても根気がいらいます。



\* 運営についてなど、お気づきのことがございましたら、お気軽に事務所までお声掛け下さい。